

～ 介護保険の現場から ～

<赤羽リハビリデイサービス> 東京都・佐藤司代表

介護保険制度改革の年！政府は今年の通常国会に改正案を提出し、通過すれば2006年度から改正案が施行予定だといわれています。柔道整復師や鍼灸師の世界では既に通所介護事業所（以下、デイサービス）の運営やケアマネージャ、あるいは機能訓練指導員として活躍する人々がいる一方、介護保険に全くノータッチの人々もいます。果たして介護保険制度見直しと柔整鍼灸の関係はこれからどうなっていくのか？バスに乗り遅れるべきか否か？！介護保険最前線の現場をレポートします。



代表の佐藤 司さん

「赤羽リハビリデイサービス」の特徴

東京都北区赤羽の佐藤司さんは、本誌でもお馴染みの整骨・鍼灸師で、何度か介護予防筋力トレーニング事業と柔整業界の参入について掲載してきました。佐

藤さんは介護保険のはじまった平成12年に介護支援専門員の資格を取得して支援事業所を開設しました。平成13年には定員27人の通所介護事業所「光デイサービス」を立ち上げました。平成14年に訪問介護事業所、そして昨年8月、北赤羽駅前に「赤羽リハビリデイサービス」「北赤羽鍼灸整骨院」をオープンさせました。ここの特徴は何と言っても「介護予防 筋力トレーニング」。高齢者用筋トレマシン4台を使った筋力トレーニングです。しかもこの機器はデイサービス専用と言うわけではなく、併設している「北赤羽整骨院・鍼灸院」と併用であるところに大きな特徴があります。

北赤羽駅前の大きな交差点に面した角の整骨院の1階の扉を開けると、すぐさま4台の筋トレマシンが目に入ります。この筋トレマシンは整骨院の患者に使用して午後1時30分から3時（整骨院が休みの時間帯）だけ、併設デイサービスの利用者に使用されるのです。つまりパーテーションで隔てたL字型の34坪ある店舗は治療院とデイサービスに分かれているものの時間帯に応じて筋トレマシンを共有するのです。この「時間差・筋トレ」こそが、佐藤さんがどうしてもやりたかったことだったのです。柔整師が開くデイサービスの一つの理想形です。



「赤羽リハビリデイサービス」と「北赤羽鍼灸整骨院」正面ビルの1階

介護保険改正の中身

その理想形は実は今年行われる介護保険改正に大いに関係があります。この改正案は04年12月厚生省が発表したもので、今年の通常国会で承認され来年度施行予定です。柔整師に関する内容を要約すると一。

筋力向上、転倒予防の運動指導者の資格要件に柔整師や鍼灸師が参入できた。

新予防給付の対象者は「廃用症候群」の生活機能の維持向上を観点とする。

「筋力向上」「低栄養改善」「口腔ケア」等の新予防給付が創設されて百万人以上の軽度要介護高齢者（要支援、要介護1）は筋トレの対象者になる。

通所介護・通所リハビリテーションは予防通所介護。予防通所リハビリテーション（仮称）になり個別運動プログラムを重視したサービスに再編される。

筋力向上等の予防サービス事業は単体でも利用可能となり1万カ所以上の民間事業者に委託される。



パーティションで仕切られた
デイサービスのスペース



4台の高齢者用筋トレマシン
(デイサービスと整骨院が共
有する)



水分補給するNさん



「バタカラ」と呼ばれる口腔
筋トレ器具

介護予防マネジメントは地域
包括支援センターを軸に民間
の予防支援事業所に委託でき
る。

新予防給付は、平成19年まで
に全国展開される予定である。

軽度要介護者の「廃用症候群」
は柔整師や鍼灸師にとってなじ
み深いものです。なぜなら変形
性膝関節症や下肢の筋力低下が
ある後期高齢者の患者さんの多
くはこの新予防給付の「廃用症
候群」の対象だからです。

そこで佐藤さんは危惧します。
「今回の改正は柔整師鍼灸師に
とって大きなチャンスである同
時に大きなピンチでもあると。つ
まり私たちがタイミングよく「新
予防給付」に参入できればいいの
ですが、参入しない場合は新予
報給付に新規事業展開する大手
フィットネスクラブや大手通所介
護事業者などに「廃用症候群の
人々」をごっそり持っていかれる
ことになる」と言うのです。ごっそり
持っていかれた患者さんはもう二
度と私たちの元には帰ってこない
でしょう。本当にそんなことにな
ったら大変です。どうすればいいの
でしょうか？

佐藤さんの対策

「私は、平成12年から始まった
介護予防地域ささえあい事業に
注目し、昨年、地域ケア政策ネッ
トワークが行った筋力トレーニン
グ研修を受講しました。この事業
が基になり介護予防筋力向上の
マニュアルが作成されました。今
回、社団の運動により今年4月か
ら始まる介護予防の市町村モデ
ル事業の筋力向上の指導者資格
にPT、OTと共に柔整師、鍼灸師
の職種が明記されました。これ
は画期的なことで、在宅リハビリ
テーションの専門職として柔整師が認

められたことを意味しています。
そのためには、社団が一丸となっ
てモデル事業の研修を行うことが
急務だと思います。あまり時間が
ありません。

平成16年度の通所介護サービ
スの保険給付は、2600億円、通
所リハビリテーションは1300億
円です。すでに柔整師等に支払
われる療養費に匹敵しています。
なんともいいますが、予防通所介
護は筋力向上の個別運動プログ
ラムが中心となります。質の担保
を図りながら200万人の軽度要
介護者に効果的な運動指導がで
きる人材は、研修を受けた柔整師、
鍼灸マッサージ師以外には居な
いのです。介護保険の指定の基準
を満たせば施術所に予防通所介
護事業所を併設することも可能で
す。いつも来ている患者さんが下
肢の筋力低下になって歩行が困
難になった場合、送迎を行って併
設予防通所介護事業所で筋トレ
をする事業形態もできます。何よ
りも、介護予防という新しい社会
保険市場に専門職として参入で
きる千載一遇のチャンスです。特
に17年度から開始する東京都老
人総合研究所(都老研)が認定し
た運動指導員研修などが、柔整
師が介護予防に参入するために
重要となるのではないかと佐藤
さんは見えています。

全体像を俯瞰すれば介護被保
険者400万人のうち200万人が要
介護1と要支援の適用者。さらに
そのうち90万人が「新予防給付」
の対象者と見られています。地域
支援事業では、数百万が対象と
なります。彼らに対応するための
介護予防の拠点は全国1万箇所
以上となる見込みです(中学校
区の規模)。これを全国1万5千人
の社団柔整師が一致団結し完全
制覇しなくてどうするのか?!と



Nさんの好きなリカンベント・スクワット(愛称・おし丸)
注：寝た状態のもの



ヒップアダクション(あけ丸)



ローイング(ひき丸)
注：手で引いているもの



レッグエクステーション(けり丸)
注：足でけりあげているもの

というのが佐藤さんの論理です。「赤羽リハビリデイサービス」「北赤羽整骨院」はいわばその先兵です。逆にこの「競争！」の意味を理解せず、手をこまねいてなくずし的に負けるようであれば、10年後の柔整師鍼灸師の治療院は間違いなく壊滅状態となることでしょう。あなおそろしや。

機能訓練について

「赤羽リハビリデイサービス」は定員10人以下の規模。午前中は、転倒予防のために「北区さくら体操」や口腔筋トレといわれる「パタカラ」が行われてました。口回りの筋肉を鍛えたり嚥下障害のリハビリに最適です。午後1時半から行われる筋トレマシンのトレーニングは4台の機器で10~20回程度ワンセット行います。あいまに頻繁に麦茶などの水分補給をします。

92歳のNさん(女性)の場合を例に取りましょう。

04年夏左大腿骨骨折のため3ヶ月入院。退院した8月末にデイサービスに来所。

当初要介護4。杖を使って歩けるが下肢筋力低下のため足が上がりずつまずきやすい状態であった。しかし筋トレには積極的に入所後毎日5キロ10回ワンセットに取り組んだ。その結果膝伸展筋力は両足5キロから15キロに。片足立ちが0秒から6秒に。タイムドアップ&ゴーは42秒から27秒に大幅短縮されました。歩行がかなり安定し、認定も要介護1となりました。本人はリカンベントスクワットがお気に入りです。毎日、筋トレをするのが楽しみだとケロツとして言います。ただしいくら回復しても、マニュアルどおり5キロを10キロにあげたり、回数を増やしたりということはあまりしてないよう

です。負荷は筋力の60パーセントという目安はあるものの、筋力がついたからといってすぐに負荷を上げていくのはためらいがあるようです。(今後の課題だと佐藤さんは言います)

儲かりますか？

「デイサービスは10人規模で利用者登録総数30人弱。月170~190万円の収入で整骨院の経費を含めて収支は、トントン。開設費用は整骨院部分を含めて約2000万円。(入浴設備にお金がかかったため内装費だけで約1000万)たとえば、サービス時間を短くして午前と午後の2回に分ければ入浴サービスはいららないため内装費はずっと安くなります。(この場合の一人単価は5,000円)

予防通所介護が創設されると810人がグループとなり90分の筋トレで保険給付が受けられるようになるでしょう」

今後は？

「スタッフ全員の質を高めたい。週1回スタッフ全員で勉強会を開催しています。皆で「新しい介護」(講談社3,900円)という介護リハビリ誌を読み解いています。大変によい本です。地域での介護職やリハビリ専門職と共通に渡り合える柔整師、鍼灸師を育てたい」佐藤さんは言います。

注：厚生省発表の介護保険改正プラン

<http://www.mhlw.go.jp/houdou/2004/12/h1222-3.html>